

NOUI DAYORI



ENDO FARM
遠藤ファーム



GRANOLA
グラノーラ工房中小路



Vineyard
石井葡萄園



Farming
小原営農



熊谷産なのはな油

こだわりのキーワード
「地産産菜種」
「非遺伝子組み換え」
「化学合成薬品・食品添加物不使用」

グラノーラが結ぶ地産地消の素敵な輪

🍯 ^{なかこうじ} グラノーラ工房中小路 (熊谷市玉作)

オリジナルグラノーラは、中小路さんが20代に約1年間カナダでホームステイしていた家のリタさんのレシピ。翻訳家時代から、月2回の「グラノーラの日」を設けて友人達にプレゼントしたところ大好評だったことから、2018年に古民家でグラノーラ工房を始めました。すべての商品のベースは、化学農薬・化学肥料・化学薬品不使用で有機認証を受けた遺伝子組み換えなしのオーツ麦を使用しています。オイルは、熊谷市内で生産・製造された「オール熊谷」の「なののはな油」を使用し、抹茶とスペシャルティコーヒーのグラノーラは、遠藤ファームのはちみつを使ってローストしています。熊谷産とコラボしたグラノーラの数々。季節の味わいを楽しんでみてください♪



GRANOLA
グラノーラ工房中小路

🌸 ^{HONEY} なののはな油 (小原営農：熊谷市小江川)

「なののはな油」のこだわりは、「オール熊谷」。小原営農は、熊谷市江南地区の遊休農地を菜の花畑に蘇らせ、非遺伝子組み換えの菜種を生産しています。そして、菜種一筋、創業明治25年の熊谷市上之の米澤製油は、圧力のみで搾油し、お湯で何度も洗う「湯洗い洗浄法(特許取得製法)」で精製しています。

遊休農地の解消に向けて平成29年に始まった菜種栽培の活動を起点に、菜種の生産者の小原営農と古くからの手法で油を搾り続ける製油会社の米澤製油がタッグを組み、県・市・農業委員会等の行政機関も参加して、令和元年に熊谷ナナイロプロジェクトチームが発足しました。菜の花が宿す歴史を再認識しつつ、満開の菜の花(景観)、油やはちみつ(食料)、油粕(肥料)など、菜の花から生み出される資源を見つめ直し、付加価値を高める研究を通して市民も参加した普及活動を実践することにより、地域を盛り上げ、持続可能な経済循環を目指しています。



わくわくのサイクルを



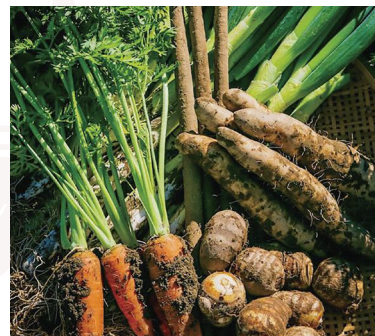
endo farm

🍯 ^{HONEY} はちみつ (遠藤ファーム株式会社：熊谷市妻沼小島)

利根川沿いの肥沃な土地でそれぞれの野菜に適した土づくりにこだわった遠藤ファーム株式会社。SDGs先進農法として、野菜を育て、野菜を収穫した後、畑を休ませるために季節ごとの花の種をまき、花が咲くとミツバチがはちみつを集め、役目を終えた花たちは土地に還し、また野菜を作る完全循環型農法を実現しています。

約60,000㎡の畑にヒマワリが咲き、11月頃までヒマワリやヒマワリ迷路が楽しめます。また、関東学園大学の学生とコラボし、ヒマワリイルミネーションを行うほか、ゼミ内で起業した学生が行うプラスチック削減のためにベトナムで製造されたレピロニア茎の「草ストロー」に賛同して自社のドリンク販売時に使用し協賛しています。

遠藤ファームの循環型農業の源は、好奇心。興味のあることを突き詰めて、だれもやらない農業にたどり着き、ヒマワリをきっかけにここに集まる人は“わくわく共創者”として、みんなで楽しく、農業を通じて地域の景観づくりにも貢献し、循環がうまれ、いい未来をつくっていきたい!



熊谷スポーツ文化公園で開催！

第19回熊谷市産業祭

KUMAGAYA CITY Industrial Festival

今年も産業祭は熊谷スポーツ文化公園で開催します。熊谷産の野菜や郷土料理の販売を行います。

ご案内

とき 11月18日(土) 午前10時～午後3時

ところ 熊谷スポーツ文化公園内

(にぎわい広場及び陸上競技場)



農産物共進会中止のお知らせ

例年、産業祭で開催されてきた農産物共進会は中止します。

農産物共進会を、楽しみにされていた皆様、出展を予定されていた皆様には、ご理解をいただきますようお願い申し上げます。

◆農業政策課 TEL 048-588-9987 (直通)

新鮮！おいしい！

熊谷産農産物の トップセールス を行います！

小林市長とJAくまがや吉田組合長によるトップセールスを行います。

日時 11月9日(木)

午後3時から

場所 熊谷駅改札外コンコース

内容

- ①熊谷産農産物等の販売
- ②JAくまがや農産物直売所のPR
- ③第19回熊谷市産業祭のPR

本年度も、「市民の皆様には熊谷産の新鮮でおいしい農産物をあらためて知ってもらいたい」という思いをこめて、熊谷駅改札外コンコースにて、熊谷産農産物のトップセールスを行います。

当日は、熊谷産農産物を購入できるJAくまがや農産物直売所のPRも行います。

また、このトップセールスは、11月18日(土)に開催される第19回熊谷市産業祭のイベントとしても位置づけており、産業祭のPRも行います。

トップセールスを、熊谷産農産物の魅力を市民の皆様知ってもらう機会とし、今後の地産地消拡大へつなげていきたいと思ひます。

◆農業政策課

TEL 048-588-9987 (直通)



任期満了に伴い農業委員・農地利用最適化推進委員を募集します

現在の農業委員、推進委員の任期は令和6年8月末までとなっています。募集は、応募、推薦いずれかの方法で受け付けます。募集説明会は令和6年1月下旬、受付期間は2月1日から3月8日までを予定しています。

農業委員は農業に関する知識を有し、農地等の利用の最適化の推進に関する事項をはじめ、

農地法に定める許認可などを合議により決定します。農地利用最適化推進委員は、定められた地区について、農地利用の最適化を具体的に進めます。

熊谷の農業と農地を守る大切な役割を担う農業委員会。応募に向けて職務内容等、興味のある方は農業委員会事務局にお問合せください。

いろいろな視点が必要です！女性・若手の積極的な応募お待ちしております！

農業に従事している人の4割は女性です。そうした中で、女性農業委員の比率は大変低いものになっています。また、未来の熊谷農業を担う若手の意見も生かしていく必要があります。女性・若手の皆さんの応募をお待ちしています。

◆農業委員会事務局 TEL 048-501-5501

農業経営及び農地利用の意向等に関する調査にご協力を！

すでに農委だよりでご案内のとおり、農業委員会では意向調査を実施します。

この調査では、農業についての今後の経営方針や、農地の貸し借りの希望、農地一筆ごとの現状や利用予定などを伺います。また、中間管理事業を介した農地の貸し借りについても伺いますので、現在中間管理事業を実施していない地区においては、今後、中間管理事業が実施されると想定してご回答をお願いいたします。

順次調査票を発送いたしますので、お手元に調査票が届きましたら記入例を参考に、返送期限までに同封された返信用封筒にて返送くださいようお願いします。

※ホームページ上での回答については実施いたしません。

◆農業委員会事務局 TEL 048-501-5501

収入保険の保険料一部を補助します。

自然災害や販売価格低下など農業者の努力では避けられない損害を補償する収入保険に加入される方に保険料の一部を補助します。

個人農家	法人	対象者
令和6年の収入保険に加入した方 (保険期間：令和6年1月～12月)	令和5年4月1日～令和6年3月31日の間のいずれかの日から始まる一保険期間に加入した法人	継続加入者 新規加入者

補助額 保険料の2分の1 百円未満切捨て **上限額** 5万円
お申込みは、収入保険加入申込み時に補助金申請を行ってください。

事業期間 令和5年度～令和7年度

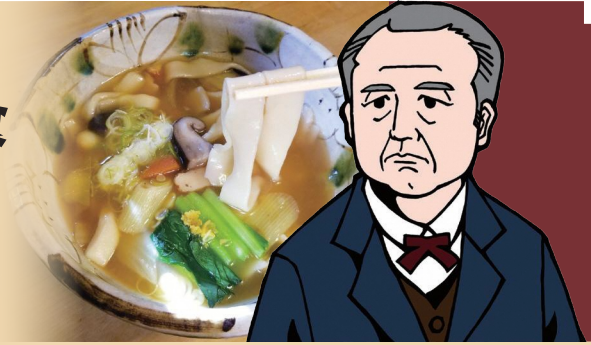
令和6年度以降は収入保険新規加入者のみになる予定です。

補助金申請手続き 埼玉県農業共済組合北部統括支所

◆農業政策課 TEL 048-588-9990 (直通)



▼熊谷の産業を盛り上げた▼ 渋沢栄一・竹井澹如の食



渋沢栄一（1840-1931）の人生を描いたNHK大河ドラマ「青天を衝け」という題名は、安政5年（1856）、渋沢が19歳の時、信州の佐久にある内山峡の険しい道を「青天を衝く勢いで登る」と詠んだ漢詩に基づいている。

渋沢は行商の旅の途中、義兄で後に富岡製糸場の初代場長となる尾高惇忠と、現在の群馬県南牧村の市川家を訪れている。同家出身で中山道熊谷宿の竹井家を継いだ竹井澹如（1840-1912）は、近代熊谷の基礎を築いた人物として知られる。青年期の交流を機に、渋沢との友情は生涯続いた。

渋沢は出身地の深谷と隣接した熊谷地域で、多くの逸話を残している。剣術師範の大川平兵衛に同行した10代の渋沢は、旧俵瀬村の荻野家に宿泊し修練した記録が残る。当時、俵瀬には医師を目指す前の幼少期の荻野吟子がいた。同じ料理を食べるなど交流があったことも想像される。

滞在中、師匠と妻沼聖天山歓喜院に出向き、昼食の接待を受けた。渋沢といえば、野菜と小麦を材料とした「煮ぼうとう」が好物とされる

が、妻沼で何を食したのか想像は尽きない。

晩年の渋沢は竹井家別邸（現在の熊谷市名勝「星溪園」）で昼食を取り、妻沼聖天山や熊谷中学（現在の熊谷高校）などを訪れている。名庭園を眺めながら、竹井と食事を楽しみ、郷土の未来を語り合ったことだろう。

食事後、熊谷中学で講演した渋沢は、前段で著名な経済学者が登壇したことから、「天ぶらの後にビーフステーキを差し上げるようなもの」として、得意分野の経済ではなく教育論を語っている。渋沢のユニークな表現からは温かな人柄が感じられる。

渋沢と竹井は、本多静六らと協力し、「埼玉学生誘掖会」を創設し、若い世代の育英事業を進めた。彼らは東京の寄宿舍で学生と食事を交え、理想の社会を議論したとされる。食の喜びを共有し、新時代の到来に期待を寄せた。

執筆：熊谷市立江南文化財センター 山下祐樹

台風等により 農業被害を受けた場合の記録について



台風等により地域全体に被害が生じたときは、支援事業が行なわれる場合があります。この場合、被害の詳細を記録しておくことで、その後の申請手続きがスムーズに進みます。

- ①【写真】農作物被害は全体と近景の写真、農業施設も被害状況がわかる写真を撮影しておきましょう。
- ②【記録】農作物被害は農地の地番や被害面積を記録、農業施設も施設等の状況がわかる図面やメモなどを残しておきましょう。
- ③【保管】被害を受けた農作物に関する病虫害防除用農薬や回復用肥料、次期作用種苗などの納品書・請求書・領収書、農業施設は復旧の取組みに関する発注書・納品書・請求書などの書類を残しておきましょう。

◆農業政策課 TEL 048-588-9990

「経営課題」の解決に 埼玉県農業経営・就農支援センターをご活用ください

大里農林振興センター

農業経営を行っている中で、「法人化したいが判断がつかない」「雇用環境を整備したい」「知的財産を守りたい」「ブランド化したい」「事業継承したい」など、農業者が抱える「経営課題」は広範囲かつ専門性が高くなっています。

埼玉県では農業者の経営改善を支援する「埼玉県農業経営・就農支援センター」を開設するとともに、各農林振興センター（サテライト窓口）に相談窓口を設置し、就農相談・経営相談を随時受け付けています。

特に、経営相談については、農林振興センターの普及指導員が相談者とともに「経営課題」を明確にし、必要に応じて埼玉県農業経営・就農支援センターの機能を活用して課題解決のお手伝いをしています。

個々の「経営課題」に合わせて、県、専門家、関係機関が連携した支援チームをつくり課題解決に向けた経営戦略を策定して、伴走支援を実施します。

熊谷市では平成30年度以降、埼玉県農業経営相談所の支援により7つの農業法人が設立されています。

「経営課題」を解決したい方は、巡回している普及指導員か下記の連絡先に電話いただくなど、気軽にご相談ください。

埼玉県農業経営・就農支援センター（埼玉県農業経営相談所） に登録されている専門家（専門分野の一例）

- 税理士（税務会計の相談）
- 社会保険労務士（労務管理（就業規則など）の相談）
- 司法書士（法務・登記の相談）
- 行政書士（法人化手続の相談）
- 弁理士（知的財産権の相談）
- 中小企業診断士（経営分析、経営改善計画の相談）
- デザイナー（商品デザインの相談）
- 6次産業化（6次化産業化に関する商品開発の相談）
- 業法人経営者（組織運営、経営管理の相談）



☆埼玉県農業経営・就農支援センター（埼玉県農業経営相談所）では、令和5年5月12日現在で、9分野75名の専門家が登録されています。

注 意！あなたの土地が狙われています！

「草刈りして返すから、一時的に資材置場として貸してほしい」、「重機を数日間だけ置かせてほしい」などと言葉巧みに話をもちかけて同意を取り、又は同意を取らずに、法令手続きを無視して短期間に大量の土砂等を堆積する事例が発生しています。

土砂を堆積するには法令手続きが必要です。

違法な土砂等の堆積が行われた場合、これらの責任や撤去費用の負担は、行為者だけで

なく、土地所有者に及ぶこともあります。

このようなトラブルに巻き込まれないよう、うまい話があっても安易に土地を貸さない、定期的に土地を見回るなど、自分の土地は自分で守りましょう。

◆農業委員会事務局 TEL 048-501-5501

◆大里農林振興センター管理部農地担当

TEL 048-523-2814

ガソリンを携行缶で 購入するときは ご協力をお願いします

令和2年2月1日から、ガソリンを携行缶で購入するときは、ガソリンスタンドスタッフによる本人確認（運転免許証の確認等）と使用目的の確認が消防法により義務付けられました。農繁期など忙しい時期に給油をすることが多いと思いますが、スタッフによる確認にご協力くださいますようお願いいたします。

◆農業委員会事務局

TEL 048-501-5501

令和2年
2/1施行

ガソリンを携行缶で購入される皆様へ

ガソリンの適正な使用を徹底するため、ガソリンを携行缶で購入される方に対して、

消防法で ① **本人確認**（運転免許証の提示など）
② **使用目的の確認** を行うとともに、
販売記録を作成することが義務付けられています。



ガソリンを容器で購入する顧客向け
リーフレット（消防庁）を加工して作成

わら等の焼却防止及び 有効活用のお願ひ

わらは、大切な資源です。有効活用しましょう。

二毛作地帯では、わらを焼却すると地力が低下します。わらをすき込むなど堆肥化還元し、地力を高めましょう。

焼却により、市役所には、「洗濯物に臭いがつく」等の苦情が、多数寄せられます。

また、煙による視界不良が原因で、交通事故が起きてしまうおそれもあります。焼却を自粛していただき、やむを得ず焼却する場合は、事前

に近隣住民へ声掛けをするなどの周知をお願いします。

冬の土ぼこり対策について

冬は、強い季節風により農地から土ぼこりが発生しやすくなります。土ぼこり対策としては、緑肥作物等を作付けすることが有効です。緑肥作物等で地面をおおうことで風食を防ぎましょう。

◆農業政策課 TEL 588-9990（直通）

yomoyama

よもやま話

「口ロンかぼちゃで地域の活性化を！」

農業委員 田中 輝久



私が代表を務める、株式会社太陽ファーム奈良では、ラグビーボール形のかぼちゃ「口ロン」を生産しています。

「口ロン」は、ラグビーボール形に生育するかぼちゃで、肉質はきめ細かく、舌触りが滑らかで上品な甘みが特徴です。

熊谷市がラグビーの盛んな地域であることになんで、19年のラグビーワールドカップに合わせ「ナイストライ」として商標登録されました。

20年からはJAくまがや園芸畜産課からの依頼により、株式会社熊谷青果市場に出荷をしてい

ます。

22年10月には「熊谷の顔」となる農産物や加工品のブランド認証を目指す「熊谷ファームラボ」プロジェクトにおいて、「ナイストライ」のブランド化を目指す株式会社熊谷青果市場が「熊谷ファームラボ」プレイヤーに認定されました。

当初の生産者は私を含め3人でしたが、令和5年には27人が118アールに作付けを行い、徐々に生産量は増加しています。

本年7月には「ナイストライ」の知名度アップを図るため、熊谷市農産物ブランド化推進協議会が「ナイストライ」の収穫体験を企画。市内の中学生ラグーマンを招き、収穫風景を動画や写真で撮影し、PRを行いました。

今後も、熊谷市の特産品になるようにPR活動を続けていくので、興味のある方は、是非一緒に作ってみませんか？

yomoyama

よもやま話

「スマート農業」

農地利用最適化推進委員
西部第2地区 福島 清一



最近、スマート農業という言葉をよく聞く。スマート農業とは、ロボット、AI、IoTなどの先進技術を活用する農業だ。

農業は、担い手の減少や高齢化による労働力不足が深刻な状況だ。担い手の減少により1人当たりの耕作面積は拡大する。私の家もここ5年間で耕作面積が3倍になった。

いよいよ我が家もスマート農業だ。まずはドローン。最初は国家資格の取得から始まる。1週間程度の講習とのこと。初日は、学科と室内

でのシュミレーションというゲーム機みたいなもので飛ばす感覚を覚える。うまく動かせない。これは実技に直結するので「福島さんは時間がかかるかも」とのこと。明日からの実技講習に不安がよぎる。真っ直ぐ飛ばす練習が1週間続く。真っ直ぐ飛ばない、と言うより真っ直ぐ飛ばせないと言った方が正解だ。若い人なら1日か2日でうまく飛ばすらしい。2週間目に突入し、今日は良くなったと思うと翌日は後戻り。もうやめようかなと思うことも。ほぼ2週間が終わろうとする頃、講師から「明日試験をします」とのこと。当日は、朝から緊張マックス。いよいよ離陸。何とか4往復の課題を飛ばし着陸。結果はなんとか合格。他の人の約2倍かかった。スマート農業というには程遠いのが実感だ。

編集後記

天高く馬肥ゆる秋、実りの季節となりました。今年はさらに、肥料、農薬、燃料、電気、農機具等の高騰により、農業を営む上で苦しい状況が続きます。一方で、新型コロナウイルス感染症の法律上の位置づけが、季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げとなり、熊谷花火大会が4年ぶりに通常開催されるなど明るい話題もありました。

農委だよりが農家の皆様一人一人を繋ぐ情報共有の場となるよう、今後とも頑張ってまいります。

(編集委員 林 和弥)

編集委員

委員	長	森田	豊
副委員	長	中嶋	儀臣
委員		福島	清一
委員		石井	芳夫
委員		栗原	一森
委員		吉田	正己
委員		柿沼	憲雄
委員		林	和弥
委員		木部	富次
委員		夏目	亮一